

令和2年度 文教委員会資料

【所管事務の調査（報告）】

川崎市市民ミュージアムの現状について

資料1 市民ミュージアム等の現地視察について

資料2 等々力緑地の短期的な浸水対策について

市 民 文 化 局

(令和2年7月30日)

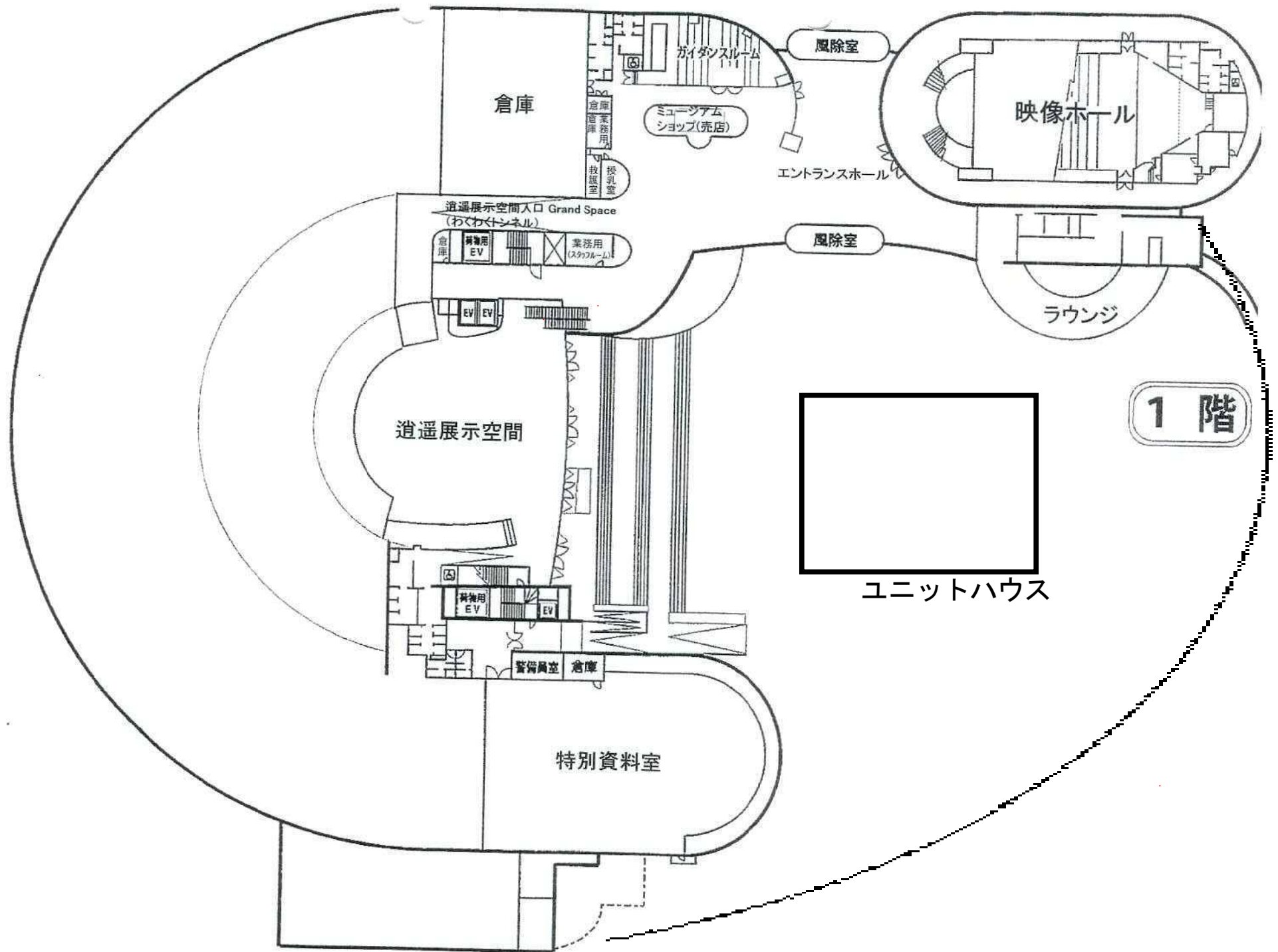
市民ミュージアム等の現地視察について

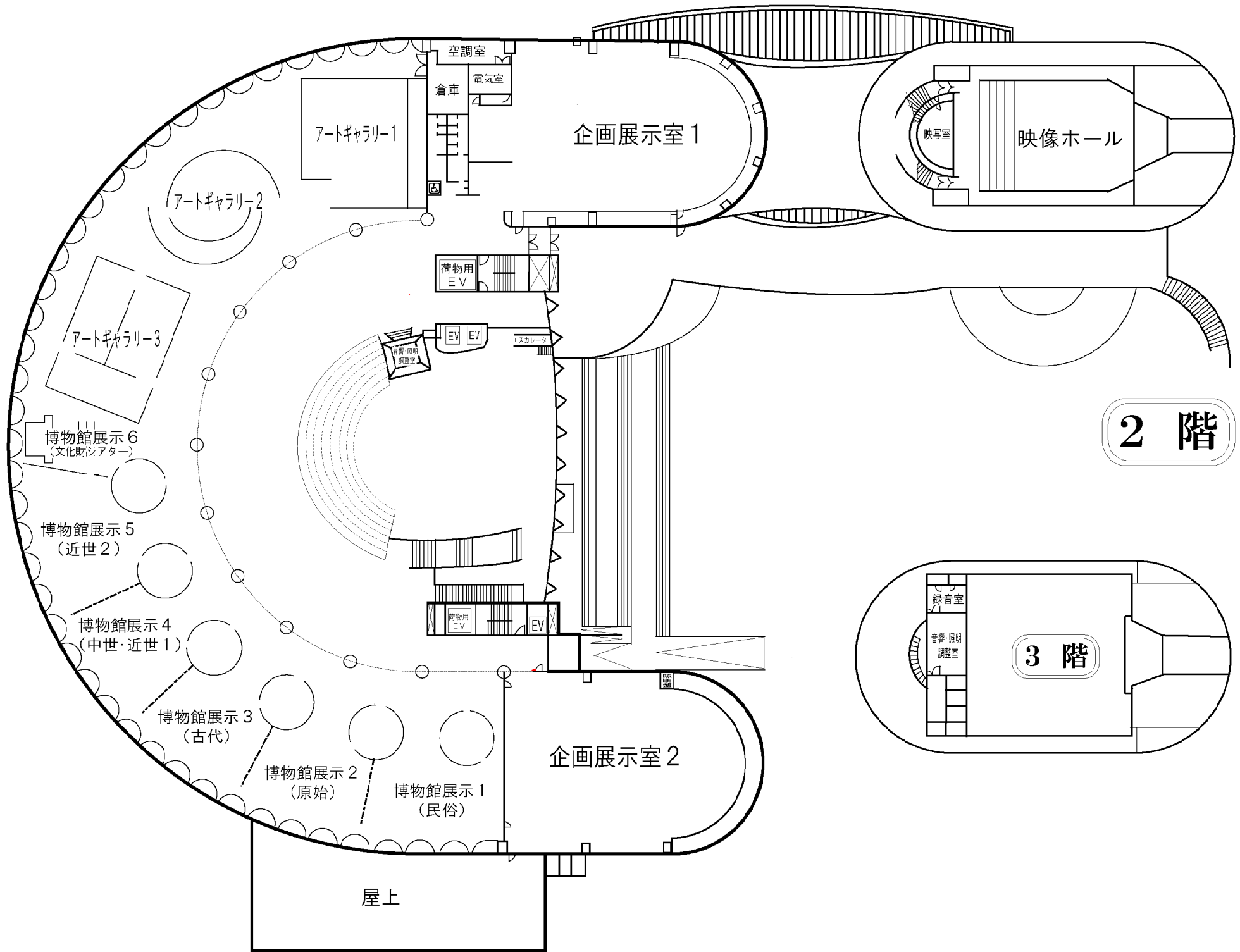
1 注意事項

- (1) 地下はカビの濃度が依然として高いため、タイベックスーツ、DS 2 マスク、長靴の着用（地下視察時のみ）が必要です。これらにつきましては、市民ミュージアムで準備いたします。
- (2) セキュリティ、著作権等の関係で個人の撮影は不可といたします。
- (3) 視察いただく際は、全員でまとまって行動をお願いします。質問等がある場合は市職員又は市民ミュージアム職員で対応させていただきます。
- (4) 地震等があった場合は、避難誘導等市民ミュージアム職員の指示に従ってください。

2 視察場所等

- ① 文教委員会開会
館内での注意事項等の説明
- ② タイベックスーツに着替え
- ③ 1階 映像ホール
- ④ ユニットハウス1階（カビ払い作業場、応急処置後作品・資料の仮置き場）
- ⑤ 冷凍・冷蔵コンテナ
- ⑥ 2階 企画展示室2（燻蒸庫）
- ⑦ 地階で長靴に履き替え
- ⑧ 第1～第9収蔵庫
- ⑨ ローディング（民具洗浄作業）
- ⑩ 地階で長靴、タイベックスーツ等脱衣
- ⑪ 館外へ移動（※荒天時はラウンジで⑫の説明）
- ⑫ ミュージアム・アリーナ間の通路の土のう、補助競技場の導水開口部、釣り池等
- ⑬ 文教委員会閉会





2 階

3 階

屋上

企画展示室 1

映像ホール

企画展示室 2

アートギャラリー-1

アートギャラリー-2

アートギャラリー-3

博物館展示 6
(文化財シアター)

博物館展示 5
(近世 2)

博物館展示 4
(中世・近世 1)

博物館展示 3
(古代)

博物館展示 2
(原始)

博物館展示 1
(民俗)

荷物用
EV

荷物用
EV

音響・照明
調整室

エスカレーター

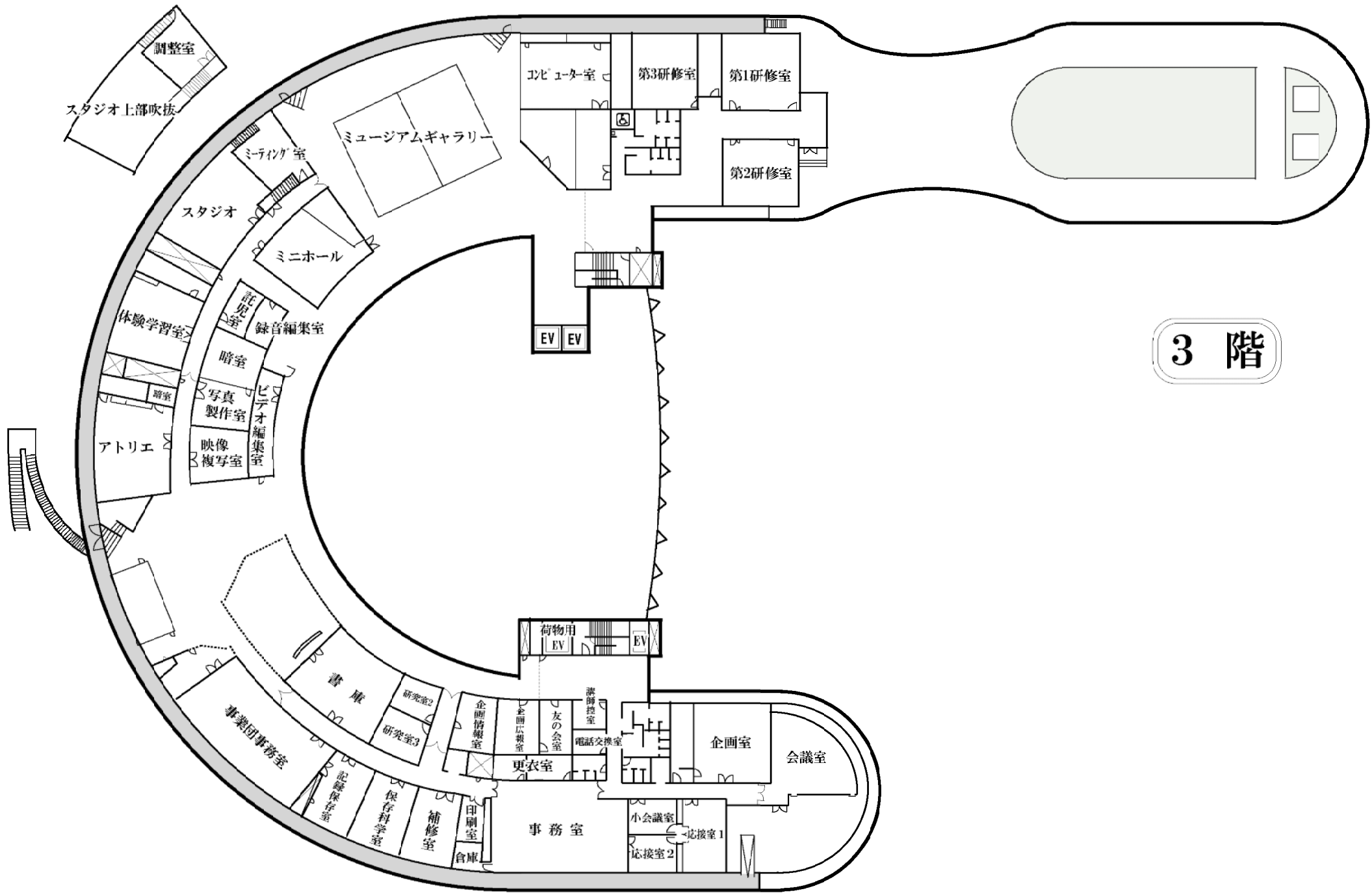
空調室

倉庫

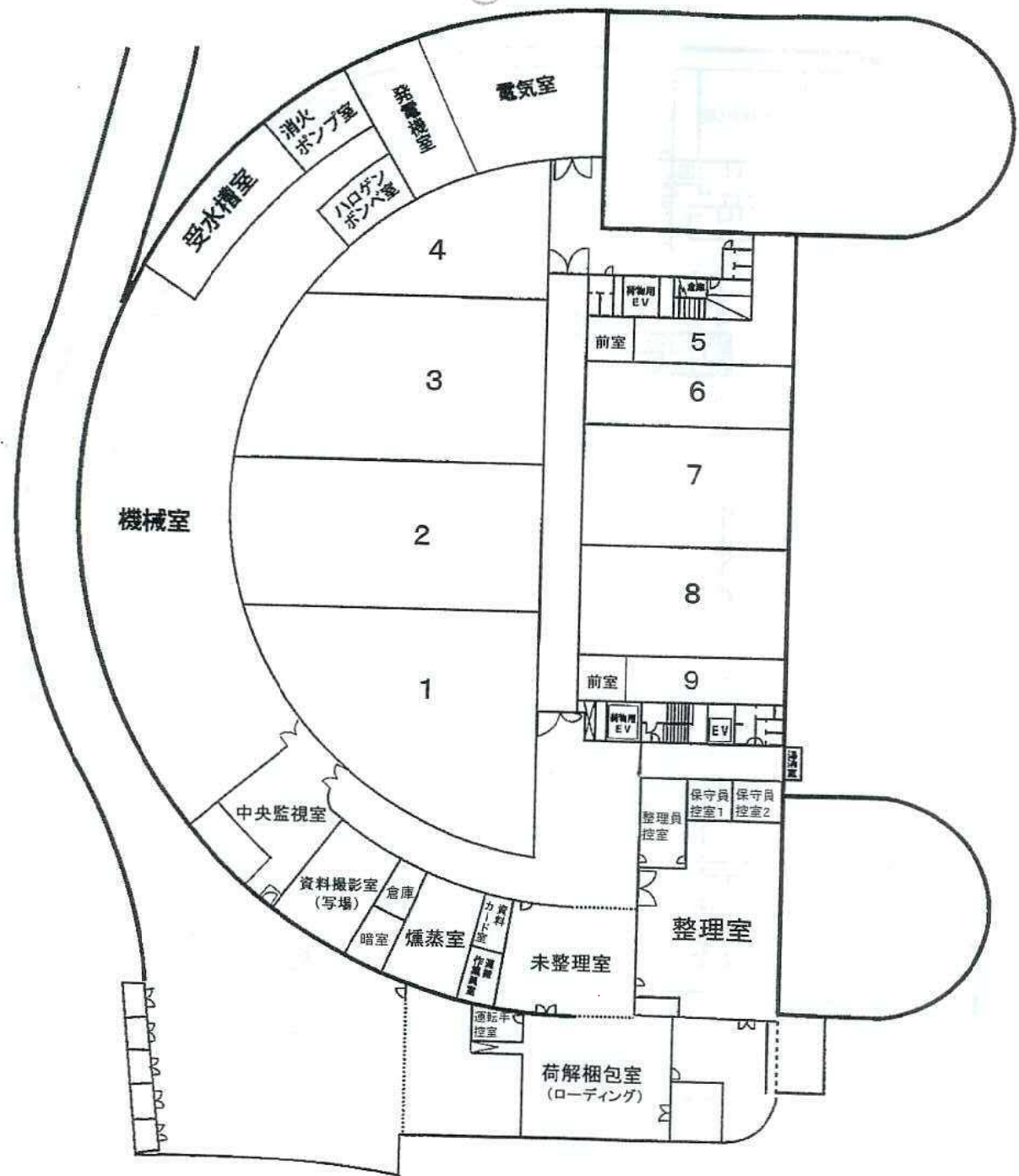
電気室

録音室

音響・照明
調整室



3 階



地階

等々力緑地の短期的な浸水対策について

令和元年東日本台風による浸水被害を受け、等々力緑地においては本年4月の調査報告を踏まえ、関係局区が連携し、以下の取組を実施する。

- 関係局区による庁内連絡会の設置
 - ・等々力緑地の浸水対策の検討や訓練の企画、実施などを目的に会議を開催
 - ・市民文化局、建設緑政局、中原区役所、上下水道局の関係課で構成
 - ・これまで2回の会議を開催し、今後も適宜、開催予定

○短期的な浸水対策

	対策	方法	役割分担
対策①	ミュージアムへの浸水防除	土のう設置	市民文化局
対策②	補助競技場への導水	L型擁壁の一部を開口	中原区役所
対策③	釣り池への導水	下水から水路へ接続	中原区役所
対策④	アリーナへの浸水防除 運動広場への導水	止水板の設置 (ボックスウォール)	市民文化局 中原区役所
対策⑤	釣り池の水位低下	排水ポンプ車で排水	上下水道局

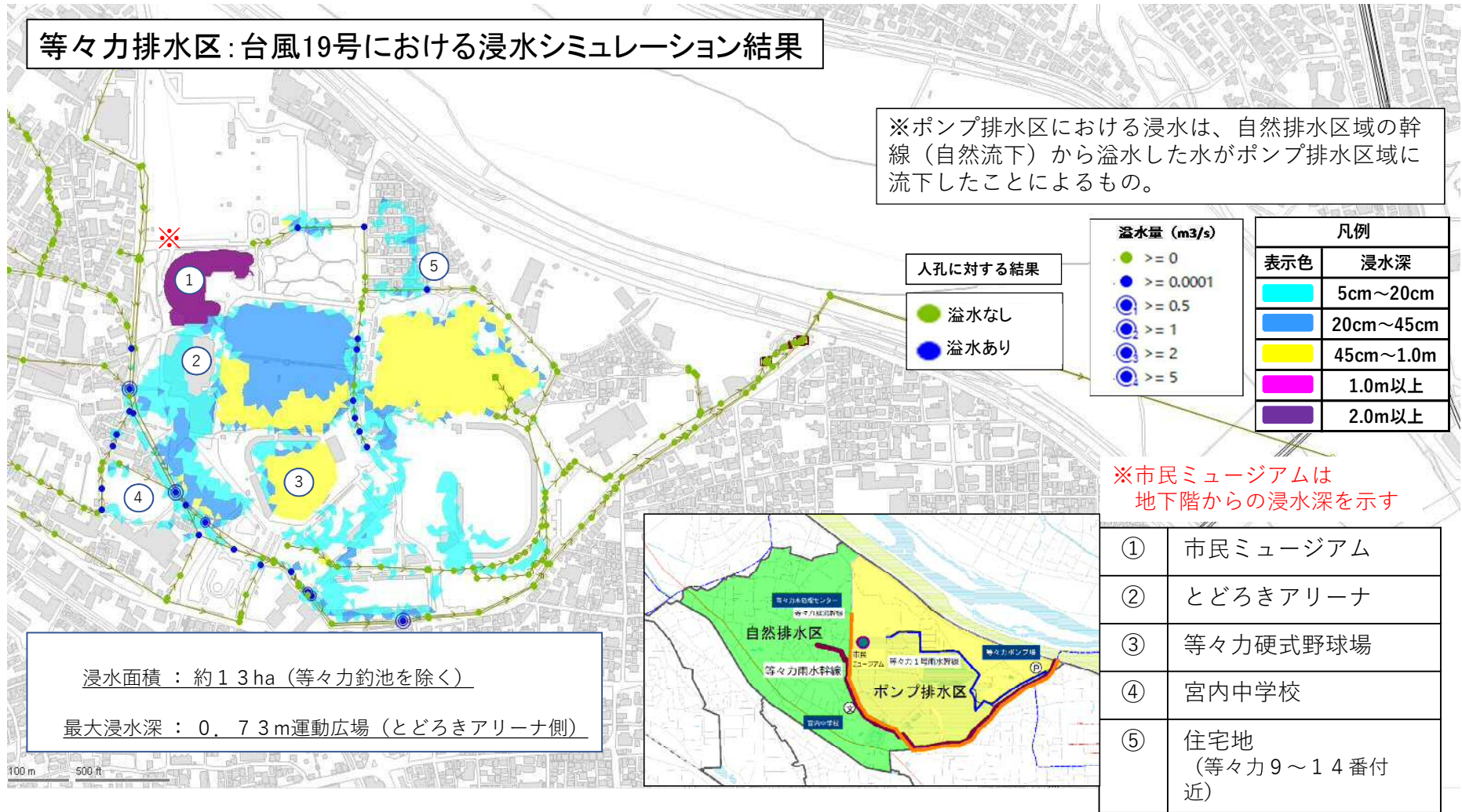
- 関係局区が連携した訓練の実施
 - ・6月30日「等々力緑地図上訓練」
=令和元年東日本台風と同様の事象を想定した情報伝達訓練
 - ・8月上旬「浸水対策実地訓練」
=緑地内の施設の浸水対策および導水対策の実地訓練

【等々力緑地の短期的な浸水対策図】



令和元年東日本台風における等々力緑地の浸水について（抜粋）

■ 6-1. シミュレーションによる検証・・・浸水面積・浸水深の再現



○総降水量：238mm/日（10月12日）

○最大時間降水量：31mm/h（13時頃）

○当日の多摩川最高水位：A.P.+10.31m（10月12日23時）

※多摩川田園調布（下）水位観測所データより

※中原区役所道路公園センター雨量観測所データより

等々力緑地の短期的な浸水対策について

令和元年東日本台風



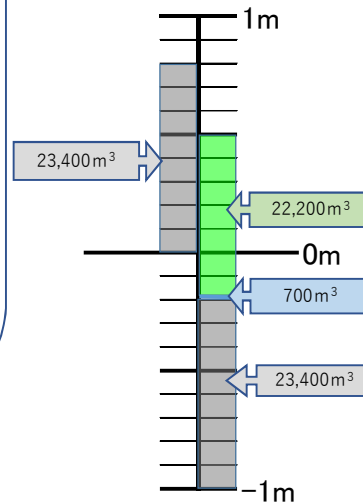
自然排水区域からの溢水量143,600m³

地上部の 湛水量 81,900m ³	市民ミュージアム	22,200 m ³
	とどろきアリーナ	700 m ³
	補助競技場・運動広場・多目的広場	13,700 m ³
	等々力釣池 ※平常時の水面から約0.8m上昇	23,400 m ³
	その他地上部	21,900 m ³
ポンプ排水区域 への流入量 61,700m ³	ポンプ排水区域の下水管きよ	61,700 m ³

※各水量は浸水シミュレーションによる

対策前 → 対策後

釣池の水位



短期的な浸水対策実施後



自然排水区域からの溢水量143,600m³

地上部の 湛水量 81,900m ³	市民ミュージアム	0 m ³	
	とどろきアリーナ	0 m ³	
	補助競技場・運動広場・多目的広場	13,700 m ³	
	等々力釣池 ※平常時の水面から 約0.5m上昇	ミュージアム分	22,200 m ³
		アリーナ分	700 m ³
		釣池流入分	23,400 m ³
		事前排水による貯留分	-30,000 m ³
平常時からの 上昇分	16,300 m ³		
その他地上部	21,900 m ³		
ポンプ排水区域 への流入量 61,700m ³	ポンプ排水区域の下水管きよ	61,700 m ³	

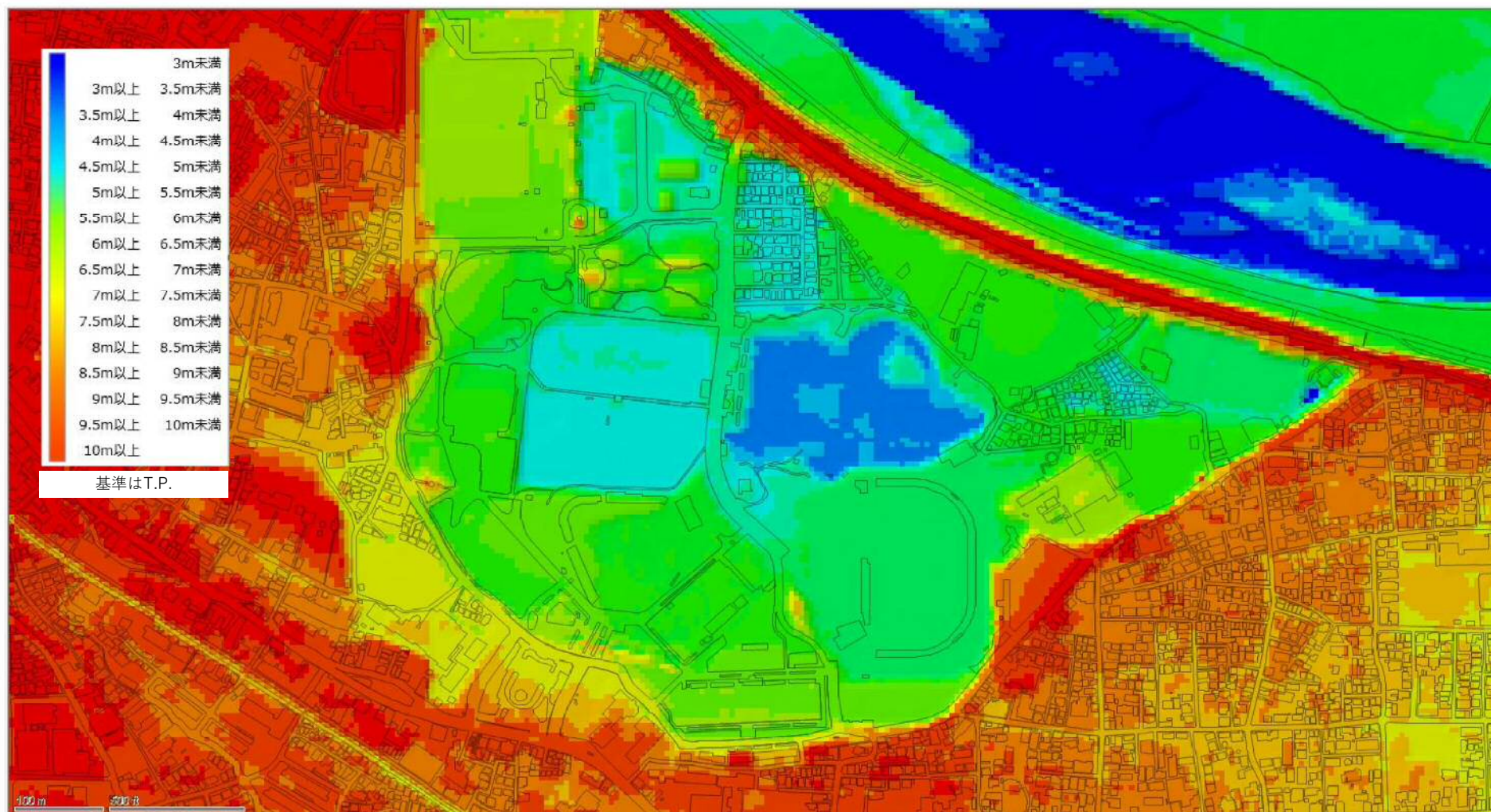
○令和元年東日本台風による等々力緑地の浸水状況（浸水シミュレーションによる）

- ・ 浸水面積 約13ha ・ 溢水量 約143,600m³ ・ ミュージアム流入量 約22,200m³ ・ アリーナ流入量 700m³
- ・ 釣池の水位上昇 約0.8m

○短期的な浸水対策のまとめ

- ・ 浸水シミュレーションの結果、令和元年東日本台風と同様の事象が発生した場合には溢水が発生する
- ・ 施設への浸水防除や釣池への導水対策（対策①～④）によりミュージアムやアリーナへの流入を防ぐ
- ・ 排水ポンプ車により釣池の水位を約1m下げ（対策⑤）約30,000m³の貯留量を確保し、ミュージアムとアリーナの合計流入量約22,900m³分を取り込み、さらに、釣池の水位上昇を約0.5mに抑えることにより緑地外への浸水を防ぐ

等々力緑地の地盤高について



※国土地理院基礎地図情報による

T.P. 0 = A.P.+1.134m

A.P. 0 = T.P.-1.134m